

平成18年度

ふじむらさき

平成18年 8月22日

諫高だより

藤 紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

<http://www.isahaya-highschool.ed.jp>

7・8月号

いま、壁にぶつかっているあなたへ

校長 福島健一郎

「人間の脳の研究をしています。人間の脳を研究することは人の生き方を考えることそのものです。日々の暮らしの中で生じる私たちの気分や感情は、すべて脳という一つの臓器から生まれてくるからです」。

脳と心の謎に挑んでおられる新進気鋭の脳科学者、茂木健一郎さんは、独自の視点でこう話を切り出されました。

そして、自分の仕事と生き方に確固とした「流儀」を持っている仕事人（プロフェッショナル）の、ある共通点に話が及んでまいりました。

それは時代の最前線で活躍されているプロフェッショナルの多くが、過去に大きな逆境を経験されている事実です。

例えば、

鳥インフルエンザの最前線に立つWHO医師 進藤奈邦子さんは、

「体もボロボロ、精神的にもボロボロ。これじゃ、もう自分がつぶれちゃう」

老舗料亭「吉兆」3代目の徳岡邦夫さんは、

「お前がいるからダメなんだと、全否定されていましたから、ずっと」

ベンチャー企業、ビジネス界注目の経営者 秋山咲恵さんは、

「部下が付いてきてくれず、苦しんだ」

「良かれと思って一生懸命やっていることが、皆からそっぽ向かれた」

人気漫画「ドラゴン桜」の登場人物のモデルにまでなった英語教師 竹岡広信さんは、

「教え子達が軒並み、受験に失敗した」

「生徒を壊したと思いましたね。僕が壊した」

しかし、どのプロフェッショナルもどん底状況を乗り越えることで、多くの飛躍を遂げておられます。

「逆境こそが飛躍のきっかけになる」

実は、逆境におかれた時にこそ、私たちの脳の感情のシステムは活性化します。

壁にぶつかり、自分の欠点を目の当たりにすれば、脳の神経回路はその欠点を補い、長所に転ずるように働くのです。

もともと人間というのは、いろいろな豊かな感情を持っています。

感情というのは、人生に何が起こるかかわからない不確実性を乗り越えるために、進化してきたといわれています。

逆境というのは、まさに何が起こるかかわからない、そのような時、脳はいろいろな感情を総動員して、それを乗り越えようとします。その中で、自分の欠点でさえも長所に変えてしまいます。

そういった素晴らしい働きを、私たちの脳は持っています。

諫高は君達の入学を待っています。

～諫早高校オープンスクール～

毎年8月に開かれる諫早高校のオープンスクール（1日体験学習）が今年も2日（水）に開かれました。全体説明につづき、各教室では本校の教員による模擬授業が行われ、来年諫早高校に入学するかもしれない生徒達に対して熱心な授業が展開されました。第二部では部活生や普通科・理数科の生徒が体験を話しました。



(下) 模擬授業の様子



「～私の被爆体験～」

～平和教育～

8月9日は長崎に原子爆弾が落とされ、県民として忘れることのできない日です。諫早高校でも長崎平和推進協会継承部会員である「山脇佳朗先生」を講師に迎え、平和についての講演会を行いました。



被爆の写真を手を熱弁される山脇先生

～生徒の感想から～

- 被爆者の高齢化が進む中で、僕たちが後世に伝えて行かなくてはならないと思った。
- 自分は「苦しんでいる人々のために何かしたい」と思っても何もできない弱い存在だ。
- 一部の人が頑張っても世の中は変わらないので、全員で取り組むべきだ。
- 原爆がおもちゃみたいな物だとすると、今ある核兵器はどこまで恐ろしいんだと思った。
- 「日本も加害者だ」ということを踏まえて後世に伝えて欲しいということがとても印象的だった。
- 原爆が落とされた県だけでなく、日本中の学校で平和教育が行われて欲しいです。

燃えた！勝った！果てた！

～夏季クラスマッチ～

台風の接近で開催が危ぶまれた夏季クラスマッチが予定通り行われました。初日の種目に若干の影響がありましたが、ほぼ晴天時のスケジュールに沿って実施。体育館とグラウンドに歓喜の音が響きました。

3年生にとってはこれが最後のクラスマッチとなりましたが、その3年生の最高学年という意地と、中堅学年である2年生の力と、1年生の勢いと若さがぶつかり合い、どの競技の中でも盛り上がった熱い闘いが展開されていました。



メガトンスパイクだ！ どっかーん！！



わーっ おめでとーっ！

成績一覧

<バレーボール 男子>	① 3-7	② 2-7	③ 1-7・3-8
<バレーボール 女子>	① 3-4	② 3-1	③ 2-8・2-5
<サッカー>	① 2-6	② 2-2	③ 3-6・3-2
<ドッジボール>	① 3-2	② 3-3	③ 3-4・2-3
<バスケットボール男子>	① 3-5	② 3-7	③ 3-2・2-6
<バスケットボール女子>	① 1-7	② 2-1	③ 1-1・3-7
<バドミントン 男子>	① 2-7	② 3-6	③ 3-1・3-7
<バドミントン 女子>	① 2-2	② 3-1	③ 2-3・2-7

エイドリアン先生ありがとう。そしてさようなら・・・



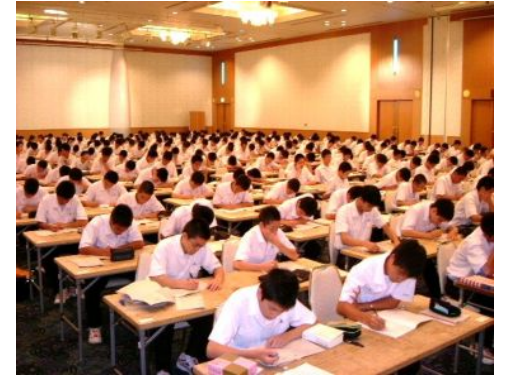
本校で2年間「オーラルコミュニケーション」を指導していただいたALTのエイドリアン先生が、この7月で任期を終えられ諫早高校を去られることとなりました。明るく頑張り屋で、「リマ先生」として生徒からの人気も高かったエイドリアン先生。スポーツマンでもあり、校内マラソン大会では一般の部で圧倒的な速さを見せつけトップでゴールし、周囲を驚かせました。リマ先生の前途に幸多かれと心からお祈りしましょう。

諫早高校生の夏

～学習合宿（1年・3年）～

夏期休業中の1年生・3年生の一大イベントである学習合宿が1年は7/21～7/25(佐世保)、3年は8/6～8/12(雲仙)の日程で行われました。

1年生は「天下無敵の設計図！～未来は己の手の中に 努力の上には花が咲く～」を合言葉に佐世保の九十九島観光ホテルの披露宴会場を貸し切り、1日9時間20分の学習日程を敢行。学習委員を各学級交代制で学習監督係としてステージに配置し、生徒の手で運営するスタイルで実施しました。



「生徒主体の合宿」を意識した1年合宿の様子

3年生は「'Green Revolution' ～夢をつかめ！59回生～」をテーマに男子が青雲荘、女子がいわき旅館にて実施。学校からトレーラーで運ばれた自分の机・椅子を各部屋に運び込み、個別に行うスタイルでそれぞれ自分の能力・体力の限界に挑戦し、志望校合格の決意をあらたにしました。

(左) 3年生の雲仙合宿の様子

各種表彰

●放送部

「第53回NHK杯全国高校放送コンテスト
長崎県大会」アナウンス部門
優良賞 福元陽子

●新聞部

「平成18年度第17回学校新聞コンクール」
企画賞

●コーラス部

「第73回NHK全国学校音楽コンクール
長崎県大会」
銅賞

●陸上部

「第61回国民体育大会陸上競技長崎県予選会」
少年B 200m 3位 榎嶋公子
少年B 走幅跳 2位 板山瑤子
少年A 1500m 1位 松永明希 3位 桐谷瞳
少年共通3000m 1位 桐谷瞳 2位 吉川佳恵

●理数科

「第8回中国・四国・九州地区
理数科高等学校課題研究発表大会」
ステージ発表の部

最優秀賞(3年 生物班)
『ペーパーマッシュルームの研究
～プリントをゴミとしないために～』

ポスターセッションの部
特別賞(3年 物理班)
『反射光を用いたソーラーパネルの
発電効率の向上』

奨励賞(3年 数学班)

『分数の分割』

奨励賞(3年 生物班)

『水耕栽培による水質浄化』

快挙！松尾美穂子先生！！

全日本教職員バドミントン大会3連覇！



松尾美穂子先生

8月8日から京都府長岡京市にて開催されていた第45回全日本教職員バドミントン大会女子シングルスにおいて、本校体育教諭の松尾美穂子先生が見事優勝。新任以来続いている3連覇を成し遂げました。

<8・9月の行事予定>

- 26(土) 中地区実力模試
- 28(月) 文化祭代休
- 9/2(土) 文化祭
- 10(日) 体育大会
- 20(土) フィールドワーク(1年)
- 23(水) 土曜特別学習会
- 26(火) 挨拶運動
- 29(金)～中間考査(～10/4)